

Mpola mpola なムベンデ便り

NO. 7

青年海外協力隊 平成 26 年度第 4 次隊 氏名:佐藤結香 職種:医療機器 派遣国:ウガンダ

今回の「Mpola mpola なムベンデ便りNO.7」では、私の活動、病院に珍客?!パート4、ある日の病院を紹介する。

①活動

ウガンダで活動して約 1 年半。何度も病院スタッフと共に医療機器のユーザートレーニングを開催してきた。スタッフに共通しているのは「医療機器に触ることを恐れている」ということである。「触ったら壊れそう」「使って壊したら怒られる」となかなか触ろうとしなかった。それでは前に進まない。ユーザートレーニングでは医療機器に触る時間を多くする!!ということを中心に心掛けてきた。

今回は酸素ボンベと ECG モニターの取り扱いを 2 日かけて集中トレーニングした。今回のトレーニングはいつもと違っていた。というのも、通常ならばユーザートレーナーと呼ばれるウガンダ人看護師がメインとなり説明、私は補佐役として参加していた。しかし今回はそのユーザートレーナーも学びたいということで私がメイントレーナーとなった。ECG に関しては日本語でも難しいのに、英語で説明しなくてははいけない。不安で前日は眠れなかった。(苦笑)



今回のトレーニングの対象は医師、救急病棟看護師、オペ室看護師に絞った。

まずトレーニングを始める前に Pre-Test を行った。このトレーニングがどのくらいスタッフにとって有意義なものになるかを知りたかったからだ。スタッフの反応はあまり良くなく、嫌々ながら何とかテストを受けてくれた(苦笑)。

←Pre-Test 中

普段のコミュニケーションはもちろん英語だが、講義中は専門的な難しい言葉が沢山だ。何度も練習してきたが、緊張で言葉が出なくなってしまいうこともあった。でも何とか最後までやり遂げることができた。

説明中→





←実際に操作し覚える

緊張も和らぎちょっとだけ笑顔→



最終日に Post-Test(内容は Pre-Test と同じ)を行い、結果は Pre-Test に比べ驚くほど高得点だった。この結果にスタッフはとても喜んでくれ、モチベーション維持にも繋がったようだ。もちろん暗記している部分もあったとは思。しかし、ここまで点数が上がるとは思っていなかったし、何より講義中、スタッフが真剣にメモを取り学んでくれたということがとても嬉しかった。

今回の勉強会では自分の中で多くの反省点があった。参加してくれたスタッフからもいろいろな意見をもらうことができた。この反省点を次の勉強会に活かし、もっとスタッフの為になる勉強会にしていきたいと思う。

②珍客?!パート 4

今回は病院を抜け出し、出張珍客シリーズをお届けする。

ウガンダの首都カンパラでエンジニアを対象とした研修会が開催された。そこで見つけた光景とは。。。。。



ウガンダでは「セネネ」と呼ばれているこの虫、日本人に分かりやすく言うとバツタ!!(イナゴではありません)セネネの時期になると、道端で沢山の女性が翅と脚をむしっている姿をよく見かける。油で揚げて塩をかけて食べる。味はエビのような感じ。ただ、食べるときにセネネと目が合う(苦笑)。

よく私の配属先にもセネネが侵入してくる(その写真がなくて載せられないのが残念です)。するとスタッフが大喜びで捕まえに行く(笑)。

スタッフ「Yuka!!あなたも手伝いなさい!!」

私「今仕事でしよー!!笑」

スタッフ「セネネは今しかないのよ!!」

こんなやり取りが楽しくて仕方ない。

③ある日の病院にて

院内ラウンド中、面白いものを発見!!



実はこれ炭を利用した高圧滅菌装置。

左には火を熾した炭を入れ、右側の容器をのせる。徐々に温められ容器内の圧が上がっていく仕組みだ。今は新しい滅菌器が導入され使用されていないが、数年前まではこれを使用していたというから驚いた。

炭を熾し、定期的に炭を足していかななくてはいけない。滅菌が完了するまで多くの時間を費やし、スタッフの労力も大変なものであったろう。当時使っていたスタッフはとても懐かしいようで、いろいろな思い出を話してくれた。たまにはこんな時間も良いなと思ったある日の午後だった。